

# From JPMA

## 製薬産業の決意

日本の製薬産業として、革新的新薬の創出等による「国民の健康」の維持・向上に、先端的研究活動による「科学技術レベル」の発展に、経済成長の牽引役として「強い日本」の復活に、寄与してまいります。また、製薬協は、グローバルヘルスにおける重要なステークホルダーであることを強く認識するとともに、「いまだ満たされない医療ニーズの充足にチャレンジし、世界の患者さまに革新的な医薬品を提供することでグローバルヘルスの向上に貢献」してまいります。（11月14日 会長記者会見より）



日本製薬工業協会  
会長 手代木 功

## 日本製薬工業協会(製薬協)

### Japan Pharmaceutical Manufacturers Association (JPMA)

製薬協は、病院、診療所などの医療機関で使われる医療用医薬品の研究・開発を通じて世界の人々の健康と福祉の向上に貢献することをめざす、研究開発志向型の製薬会社が加盟する団体で、1968年に設立されました。

製薬協は、「患者参加型の医療の実現」に向けて、医薬品に対する理解を深めていただくための活動、ならびに製薬産業の健全な発展のための政策提言などをおこなっています。

製薬協は、国際製薬団体連合会(IFPMA)の加盟団体として世界の医療・医薬に関わる諸問題に対応し、各団体と連携を図りながら、グローバルな活動を展開しています。